

With/Afterコロナ時代のマネジメント仕組み化を実現する新サービス「スマレビ RWCS (リモートワークコンディションサーベイ)」をリリース

リモートワークにより生まれる課題の把握～改善をフィードバックサイクルで解決

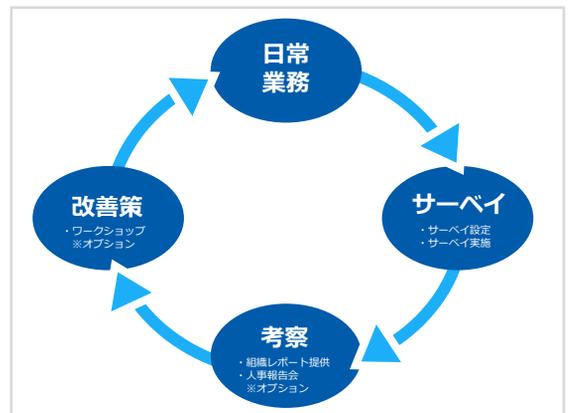
HRサーベイクラウドシステムの開発・販売事業を展開する株式会社シーベース（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：深井 幹雄）は、With/Afterコロナにおける業務環境変化に合わせ、リモートワーク環境下で社員マネジメントを仕組み化する新サービス「スマレビ RWCS」の提供を開始いたしました。

リリースの背景

リモートワークによる組織への負荷を組織的に解決することが求められています。

コロナウィルス対策の影響もあり、日本でも急速にリモートワーク、テレワークの導入が進みました。当初は物理的にリモートワークができる環境をどのように作るのか、業務をどのように回すのかなどが課題としてあがりましたが、問題が長期化するに伴い、メンタル不調の問題がでてきています。

緊急事態宣言が解除され日常生活は取り戻しつつありますが、以前のように全員が同じ時間、同じ場所で仕事をすることはリスク対策の観点から難しく、これからも組織への負荷がかかり続けます。

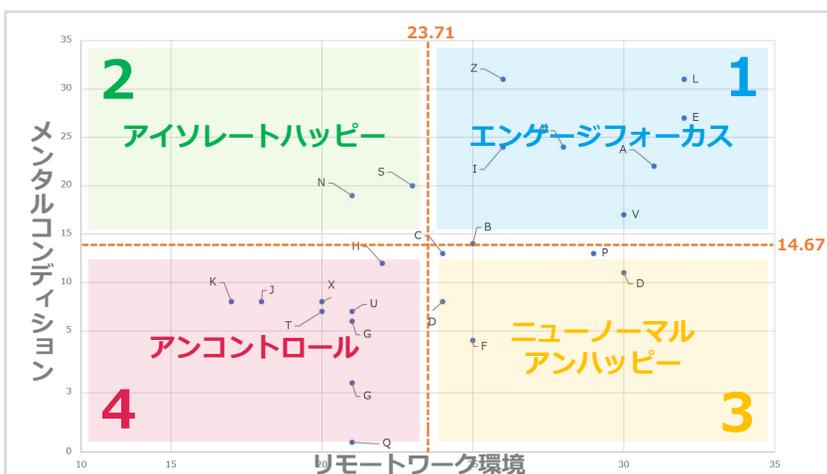


▲シンプルなフィードバックサイクル

リモートワーク環境とメンタルコンディションの掛け合わせで問題を把握します。

リモートワークにおける物理的な環境、業務プロセス、コミュニケーションなどとメンタルコンディションの関係は切り離して考えることはできません。全社のみならず、部門や階層によっても状況は異なります。組織を束ねるマネージャーはWith/Afterコロナでの業務の立て直しに追われ、組織状況の把握するまでの時間を割くことが出来ない中での対応が求められています。

本サービスではWith/Afterコロナにおける社会の変化と直面する課題、リモートワークによるメンタルコンディションの把握からその対策についてシンプルな改善サイクルを回せることを意図しています。



◀リモートワーク環境×メンタルコンディションマトリクスによる個人別分析

縦横軸ごとの平均点を中心軸とし、4象限に分類。分類に応じた個別フォローが可能。

1. リモート×メンタル共に好調。仕事のパフォーマンスを発揮していると自らが感じている
2. リモートは整っていないが、通勤や同僚との顔合わせがなくなるなどによりメンタル状態が好調
3. リモートは整っているが、社会不安、自分の将来などの心配により低いメンタル状態
4. リモート×メンタル共に低調。速やかにサポートが必要

スマレビRWCSの特徴

1. 回答3分でコンディションを把握できる
オリジナル設問

リモートワークの状態下にもない課題として発生する、物理的な環境、コミュニケーション、業務プロセス、メンタルコンディションなどを網羅した設問設計です。

要点を絞った設問設計により、回答者の負担を軽減するとともに、問題分析が容易になっています。サーベイを実施して組織の状況を把握するだけでなく、改善への取組みを組織的におこなえることを意図しています。

| リモートワーク環境 | メンタルコンディション |
|--------------|-------------|
| ① 業務遂行 | ① 気持ちのハリ |
| ② ワークライフバランス | ② ストレス |
| ③ チーム内の協働 | ③ 充実感 |
| ④ 部門間の協働 | ④ やる気 |
| ⑤ 上司の支援 | ⑤ 将来の希望 |
| ⑥ 物理的な環境 | ⑥ 生活の楽しみ |
| ⑦ 経営側の情報発信 | ⑦ 疲れのなさ |
| ⑧ 経営側の判断 | ⑧ 生活の満足 |

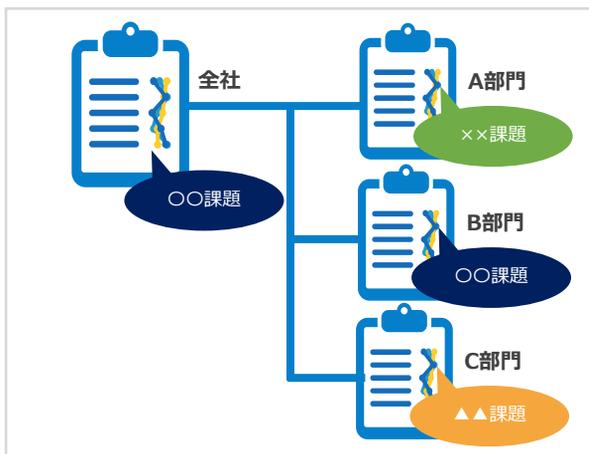
▲設問設計リモートワーク環境×メンタルコンディション

2. 課題の特定が容易な組織レポートを提供

リモートワークによる課題は状況に応じて変化します。月や期という単位で継続的にサーベイ実施することで、新たな課題の発見、特定した課題のその後の改善状況などを継続的に把握することが可能です。

また組織全体のレポートのみならず、役割・役職、部門での比較をおこなうことで、組織の中でどこに負荷がかかっているのかを把握することも可能です。

シンプルなレポートをもとに、全社単位、属性単位での改善サイクルを容易におこなえます。



▲役割・役職、部門での比較ができるレポート

3. 短期間でのフィードバックサイクルの運用を支援

サーベイの効果は、サーベイの実施、考察、課題の特定、改善への取組みというフィードバックサイクルを回して初めてあらわれます。

スマレビRWCSでは、シンプルな設問でのサーベイ、シンプルなレポートでの考察をはじめ、人事向け報告会(※)、キーマン向けワークショップ(※)のサポートなど、改善サイクルを社内で回していただくための運用を支援します。 ※オプション料金にて提供



▲オンラインワークショップの様子